

## **令和2年8月定例会議事録**

**令和2年8月7日**

**鹿屋市教育委員会**

○日 時 令和2年8月7日（金）  
15時から17時まで

○場 所 教育長室

○出席者

教育長	中野 健作
教育長職務代理者	風呂井 敬
教育委員	蓑田 繼男
教育委員	早川 雅子
教育委員	東別府 陸

○関係者

教育次長	稻村 奎幸
教育総務課長	牧口 充文
学校教育課長	安藤 晋哉
生涯学習課長	鬼塚 仁
教育総務課課長補佐	柿内 徹

○議事日程

1 開会

2 前回議事録の承認

3 教育長及び委員の報告

4 議事

5 報告

(1) 7月豪雨に伴う教育委員会関係施設の被害状況について

(2) 令和3年3月市内中学校卒業予定者の進路希望状況（7/10調査）について

6 動議の討論等

7 その他

8 閉会

○議決事項

議案番号	件 名	審議の状況	採決次第
	今回はなし		

○議事要旨

1	開会
教育長	コロナ禍で、新しい生活スタイルが求められているが、定着するには時間がかかる。国からは、必要に応じてマスク着用へと指導に変化があった。学校現場では、熱中症対策を含め対応すべきである。
2	前回の議事録の承認
教育長	異議無く承認
3	教育長及び委員の報告
早川委員	7月6日の豪雨で、寿北小学校での対応に関して保護者から戸惑いの声があったようだが、豪雨時の基準を徹底した方が良い。
学校教育課長	鹿屋市街地の被害の大きさが想定外であったことと、各地域の学校によって状況に大きな違いがあり、休校等の判断がそれぞれであった。2日後にも大雨の予報があったため、判断基準を定めて各学校に周知した。今後、保護者が混乱しないように休校等の判断をしていきたい。
教育長	今回の豪雨では、国が新たに定めたレベル4の避難指示が鹿屋市全体に出された。そのような中での判断は、教育委員会としても初めての事であり、各学校の決定も難しく遅れた所も一部あった。対象地域の学校へ速やかな判断をする重要性を感じた。
4	議事
教育長	議案がないので、議事はないものとする。
5	報告
生涯学習課長	(1) 7月豪雨に伴う教育委員会関係施設の被害状況について 資料に基づき説明  (2) 令和3年3月市内中学校卒業予定者の進路希望状況（7/10調査）について 資料に基づき説明
学校教育課長	資料に基づき説明

風呂井委員	商業系学科の入学希望者数が減っているが、社会的背景が関係するのか。把握していかなければならない。
教育長	商業系の学校は、全県が厳しい状況であるようだ。一方、私立高校は生徒数確保が順調なようだ。常に問題を意識し、必要に応じて原因を調査し協議していかなければならない。
東別府委員	鹿屋女子高の状況はどうか。
学校教育課長	今年度から総合選択制を取り入れており、一人一人の進路希望に応じた学習や、資格取得にも力をいれている。この点も積極的に周知するよう努めていきたい。
教育長	総合選択制を導入する事で、入学してから将来の進路に向けて学べる学科の幅が広がった。その分、講師派遣や施設の充実、そして更なるアピールが必要である。
東別府委員	今年度、鹿屋女子高に入学した生徒から、総合選択制について高評価の情報が中学生に伝わっているようだ。
蓑田委員	各中学校で、高等学校の合同説明会を保護者参加で開催された時に、参加した保護者は、進学希望校の説明を聞くと帰宅する傾向であった。全校の説明を聞いてもらえるようになれば良いと思う。母校の卒業生が学校紹介をする事で生徒と共に興味を持つのではないか。
学校教育課長	鹿屋女子高の校長は、学校見学会を数日に分けて開催し、各校区の卒業生が中学生に学校紹介や説明をする方法を計画している。
教育長	現在、新型コロナウイルスの影響で学校見学会を開催できず、苦しい状況である。正しい情報を伝える努力をする必要がある。
教育総務課長	タブレットを使用した授業も開始しているので見学して頂きたい。
教育長	校舎が完成してから教育委員の視察も実現していない為、授業時間の生徒の様子を含めた視察の計画をしたい。
6	動議の討論
教育長	発言がないので、動議はないものとする。

7	その他
生涯学習課長	(1) 成年年齢引下げにかかる成人式の在り方について  資料に基づき説明
教育長	鹿屋市全体の行事であるため、生涯学習課が所管課であり、教育委員会で協議した後、市長決裁となる。
東別府委員	当事者からは、受験の時期と重なるため20歳に開催希望の意見がある。
早川委員	高校を卒業してから進学や就職というかたちで、自立に向かっての成人という意味があり、18歳にこだわらなくても良いのではないか。
生涯学習課長	実行委員会において対象者の意見も聞いてみる。20歳開催を予定している市町村が多く、18歳で開催する市町村は現時点では無い。
教育長	これまで通り20歳で開催する場合は、「成人式」という式名で開催できるのか。
生涯学習課長	その場合、「20歳を祝う会」など式名を変更して開催する。
蓑田委員	併せて、選挙権が18歳以上になったが、今回の県知事選挙の高校生の投票数の集計はしていないのか。
教育長	投票数については調べて次回報告をする。成人式開催については、20歳が良いとの結論とする。
学校教育課長	(2) 7月の豪雨による「学校給食パン業者」被災について  資料に基づき説明
東別府委員 学校教育課長	工場の復旧予定があるようだが、同じ場所で予定しているのか。移転を計画している。
風呂井委員	パンの供給を鹿児島市内からも予定しているようだが、鹿屋市内で急遽製造できる施設がないということか。

教育次長	当該パン業者は、鹿屋市内の小・中学校のパンと米飯を8割製造し、2割は肝付町の業者が製造している。また、当該業者は、垂水市も担当していた為、肝付町の業者が垂水市の小・中学校のパン製造を担当することになった。鹿屋市へは、学校給食会を通じて鹿児島市内の業者を紹介していただいた。しかし、9月からは新学期が始まり、紹介業者の担当する学校もある為、冷凍パンの検討もしている状況である。
教育長	今回の定例教育委員会は、令和2年9月4日（金）15時00分から教育長室で行う。
8	閉会
教育長	以上をもって8月定例教育委員会を閉会する。 以上